

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|----|---|----|-----------|-----|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 2 | 7 | | 体調不良になったときの療養スペースがない |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 3 | 4 | 2 | 送迎時やトラブル時に足りないと思うときが時折ある |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 1 | 1 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 4 | 4 | 1 | 毎日のミーティングで共通理解を深めている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | 3 | | 毎年2月に実施している |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 3 | 2 | 公開している |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 7 | 1 | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | 3 | 1 | 島内での研修が少ない |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | 2 | | 児童発達支援管理責任者が実施 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 6 | 3 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | 3 | | ミーティングでの共通理解のもと実施している |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | 3 | | ミーティングでの共通理解のもと実施している |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 7 | 2 | | ミーティングでの共通理解のもと実施している |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | 1 | | 児童発達支援管理責任者が実施し職員に周知している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 9 | | | 毎日のミーティングで実施 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 7 | 2 | | 送迎後に重要な点を職員で申し送りしている |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 8 | 1 | | 活動記録や個人日誌に記録 |

| | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|
| | 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | 3 | | 支援会議の実施により検討している |
| | 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | 5 | 4 | | 支援会議を通して共通理解のもと支援を実施 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 9 | | | 主に児童発達支援管理責任者が参画している |
| | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 9 | | | 送迎時を活用し、担任との情報交換をしている |
| | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 9 | | | 主治医の意見書をもらい連携体制を整えている |
| | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 6 | 2 | 1 | 可能な限り情報提供を受けている |
| | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 7 | 1 | 1 | 申し出に応じて対応 |
| | 25 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | 4 | | 連絡を密にし、支援に対する共通理解を得ると共に、支援に関する助言も活用している |
| | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 6 | 2 | コロナ禍で実施できず |
| | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 7 | 1 | 参加の機会が少ないため、情報共有に努めている |
| | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 9 | | | 面談や電話、送迎時や連絡帳など様々な手段を活用し情報交換を行っている |
| | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 9 | | ペアレント・トレーニングに関する知識を深めることに努める |
| | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | 3 | | 書面等を用いお知らせを行い、個人的な問い合わせには対応できるよう努めている |
| | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | 3 | | 保護者の悩みには傾聴、共感、受容の姿勢で臨んでいる |
| 保護者への説明責任等 | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 1 | 7 | 1 | コロナ禍により「保護者会」を中止している 来年度の実施には努めたい |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 3 | | マニアルに基づき対応する |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 9 | | | 月に1会の「ジュニアだより」を発行 また、必要に応じて連絡事項等を書面で配布している |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 9 | | | 全職員共通理解で対応している |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 9 | | | 書面でのお知らせにあわせ、送迎時に対面での伝達に努めている |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | 5 | 1 | コロナ禍により実施できていない 来年度の実施に努める |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 8 | 1 | | 書面でのお知らせに努めている |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 9 | | | 避難訓練等に参加している |
| 非常時等の対応 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 9 | | | 年に1回の研修会参加 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 5 | 4 | | 保護者との共通理解に努めている |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 8 | 1 | | 対象児がいる場合は的確に対応するよう努める |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 9 | | | 実施し、今後の業務改善に努めている |